

令和2年10月

市長定例記者会見次第

1. 日 時： 令和2年10月8日（木） 14：00～ （約1時間）
2. 場 所： 市役所4階 403会議室
3. 出席者： 市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - (1) 五感にごちそう 金沢宿泊キャンペーン事業の利用対象地域の拡大について
(資料番号1)
 - (2) まちなかでのイベント開催について
 - ・ かなざわ国際交流まつり 2020 の開催について (資料番号2-1)
 - ・ 金沢食文化フェスタの開催等について (資料番号2-2)
 - ・ KOGEI フェスタの開催について (資料番号2-3)
 - (3) Civic Tech Summit KANAZAWA2020 の開催について (資料番号3)
 - (4) 令和2年度 金沢市文化賞・産業功労賞・社会福祉功労賞の贈呈について
(資料番号4)
 - (5) 「空き家など活用・流通促進体制に関する協定」締結式について (資料番号5)
 - (6) 金沢市職員地域貢献活動応援制度の創設について (資料番号6)
 - (7) 「金沢マラソン 2020 オンライン」の申込結果について (資料番号7)

市長定例会見資料

五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業の

利用対象地域の拡大について

10月1日から、対象となる旅行者の居住地域を北信越地域（石川県、富山県、福井県、新潟県、長野県）に限定して実施していますが、石川県内並びに全国の新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み、11月1日から旅行者の居住地域を全国に拡大します。

1. 北信越地域以外に居住する方の予約の開始日 令和2年10月22日（木）

- ※ 新型コロナウイルスの感染が拡大するなど状況が変わった場合は、変更する場合があります。
その際は、改めて報告します。

2. 旅行プランの造成及び販売主体の追加

宿泊に食や体験等を組み合わせた旅行プランの造成及び販売については、宿泊施設を基本としていましたが、利用対象地域の拡大に併せ、宿泊施設や飲食店等との連携・共同のもと、金沢市内に営業拠点を置く旅行者等が造成・販売できることとします。

- ※ 旅行者等
旅行業法により、観光庁長官または都道府県知事による旅行業または旅行者代理業の登録を受け、報酬を得て一定の行為を行う事業者
ただし、OTAを除く

市長定例記者会見資料

かなざわ国際交流まつり 2020 の開催について

今年で28回目を迎える北陸最大級の国際交流イベント「かなざわ国際交流まつり」は、金沢で暮らす外国人市民と日本人市民が同じ地域社会の一員として相互理解や交流を深めるため、市内・県内から27の国際交流関係団体の参加を得て開催します。

今回の開会式では、金沢市の4名の国際交流員がステージで「新型コロナウイルスに負けない宣言」を行い、逆境をはねのけて開催する本まつりを盛り上げます。

- 1 日 時 令和2年10月10日(土)・11日(日) 10:00~15:00 雨天決行
〔開会式10月10日(土) 11:20~11:30〕
- 2 会 場 金沢市役所庁舎前広場
- 3 主 催 公益財団法人 金沢国際交流財団 (共催: 金沢市)
- 4 主なイベント内容
 - (1) ワールドステージ 世界のダンスや楽器演奏などのパフォーマンス
 - (2) ワールドバザール&インフォメーションコーナー
世界の民芸品・雑貨・コーヒーなどの販売
国際交流に関する情報提供など
 - (3) 体験コーナー クラフト体験(折り紙、水引)、クイズ・ゲームなど
 - (4) パネル展 国際交流団体の活動紹介など
- 5 その他 コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年は料理の販売はありません。ただし、飲み物は販売します。

市長定例記者会見資料

金沢食文化フェスタの開催等について

金沢の食の豊かさや奥深さについて、幅広い世代の市民や観光客に理解を深めてもらう食文化フェスタをKOGEIフェスタと同時にまちなかで開催し、食文化の更なる継承・振興を図るとともに、商店街等への回遊性を高める。併せて、菓子・料理・バーテンダー職人の技能向上や各業界の振興・発展に多大な貢献があった方への「名工賞」の表彰式を実施する。

1. 会 期 令和2年10月10日（土）～11日（日）午前10時～午後5時

2. 会 場 しいのき迎賓館及びしいのき緑地

3. 金沢食文化フェスタの内容

(1) 発酵食や出汁を使った体験ワークショップ（10月10日）

和食が健康的な食事として注目される中、プロが教える出汁講座やみそボールづくり、糍と甘酒のワークショップ等を実施（全5回）

(2) 秋、おなじみの和菓子作りを楽しもう（10月10日～11日）

県菓子工業組合の若手職人が講師となり、生菓子づくりを体験（全10回）

(3) 「五感にごちそうかなざわ」飲食テイクアウトブース（10月10日～11日）

金沢料理職人塾の料理人が、旬の加賀野菜や魚介類等を用いた料理を提供

4. 金沢の菓子・料理・バーテンダー名工賞の表彰式

（日 時）令和2年10月11日（日）午後3時～

（場 所）市役所第二本庁舎1階エントランスホール

（受賞者）【和菓子】谷 誠 氏（65歳）（生菓子谷屋経営）

【洋菓子】谷川 善 氏（62歳）（ケーキハウスマルフジ勤務）

【日本料理】中里 知 氏（56歳）（旬彩和食口福経営）

【西洋料理】越森 政義 氏（69歳）（コーヒーレストランプティポワ経営）

※既受賞者数 85人（平成7年度～令和元年度の計25回）

5. 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 出入口の限定、来場者の検温及び検温済みステッカーの提示
- ・ マスク着用の徹底と手指消毒の実施
- ・ ワークショップ等の参加人数の制限及び参加者名簿の作成
- ・ ブース数の縮小（6→4）及びシールドフェンスの設置
- ・ 飲食スペースを設置せず、テイクアウト方式を導入
- ・ 「3密」回避のため、名工賞の表彰式会場を変更 など

市長定例記者会見資料

KOGEI フェスタの開催について

市民及び来街者が、金沢の魅力である工芸を見て、触れて、体験する機会を創出し、市内の工房やギャラリーとともに、「工芸のまち・金沢」を発信する。

1. 会 期 令和2年10月10日(土)～11日(日) 午前10時～午後5時
2. 会 場 しいのき迎賓館及びしいのき緑地
3. 主 催 KOGEI フェスタ開催委員会、
金沢市、(一社)金沢クラフトビジネス創造機構

4. 内 容

(1) KOGEI 体験

- ・つくり手からの指導による工芸制作のほか、工芸に触れる機会を創出
- ・金沢九谷の粘土を使ったごはん茶碗、金箔の小皿や金沢蒔絵のお盆、加賀繡のストラップや型友禅染のハンカチづくりのほか、金沢仏壇の組立てや加賀友禅きもの着装会など全15体験

(2) KOGEI マルシェ

- ・若手作家等による工芸品ブースを設け、販売会を開催するとともに、気軽につくり手と交流する場を創出

5. 新型コロナウイルス感染予防対策

- ・出入口の限定、来場時の検温及び検温済みステッカーの提示
- ・マスク着用の徹底と手指消毒の実施
- ・KOGEI 体験の事前予約制の導入、参加人数の制限及び参加者名簿の作成
- ・出展ブースの縮小(62→50)及び出展者のフェイスシールド着用 など

「Civic Tech Summit KANAZAWA 2020」の開催について

ICTを活用したまちづくりや地域課題解決に取り組む「シビックテック(*)」活動を広く市民に周知し、市民協働を推進するため、有識者による講演やワークショップ等を行う「Civic Tech Summit KANAZAWA 2020」を開催します。

今年は、県内外の方々が参加しやすいように、オンライン形式で実施します。

今年のテーマ：～ウィズコロナ時代に考える～

オンラインに慣れた経験を活かして、地域コミュニティのあり方を見直そう

一番身近な市民のコミュニティである「町内会」と「PTA」について、シビックテックでできる事を皆さんと考えます。

1 開催日時等

日時：令和2年11月15日（日） 10:00～16:30

場所：IT ビジネスプラザ武蔵 交流室1

ZOOMでのオンライン開催

オンライン環境のない方は、上記場所で視聴・参加できます。

2 内容（予定）

（1）基調講演（午前の部）

○ オープニング

シビックテックとイベント趣旨説明

福島 健一郎（ふくしま けんいちろう）氏（コード・フォー・カナザワ 代表理事）

○ 基調講演Ⅰ

「IT研究者がPTA役員になって感じたこと、学んだこと」

五十嵐 悠紀（いがらし ゆき）氏（明治大学 准教授）

○ 基調講演Ⅱ

「アフターコロナの自治会・町内会の運営について」

水津 陽子（すいづ ようこ）氏（合同会社フォーティR&C 代表）

（2）セミナー（午後の部）

パネルディスカッションやワークショップ形式でセミナーを開催します。

① パネルディスカッション

町内会の分野で活動している方が登壇します。

② ワークショップ

課題解決のフレームワークを学び、参加者の身の回りの課題をグループディスカッションします。

3 その他

主催：金沢市 共催：金沢シビックテック推進協議会

後援：総務省北陸総合通信局、石川県、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町（予定）

*シビックテック（CivicTech）：Civic（市民）とTech（テクノロジー）をかけた造語のことで、市民自らが、テクノロジーを活用して、地域課題を解決しようとする取り組みや考え方を指します。

令和2年度 金沢市文化賞・産業功労賞・社会福祉功労賞の贈呈について

金沢市では、本市の文化・産業・社会福祉の振興発展に特に功績著しい方に、それぞれ金沢市文化賞・金沢市産業功労賞・金沢市社会福祉功労賞を贈呈しています。

このたび、本年度の受賞者を決定し、下記のとおり贈呈式を開催します。

記

<受賞者 及び 各賞の概要> (年齢は贈呈式当日)

○文化賞【個人3名】(文化政策課)

本市の文化の振興発展に関し、特に功績顕著な方に金沢市文化賞を贈呈し、顕彰しており、昭和22年度に創設(式典73回開催)

※既受賞者数 個人:214人、団体:19団体

やまだ まさゆき
山田 正幸 氏 (77歳) 「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」総合プロデューサー
にわ としお
丹羽 俊夫 氏 (72歳) 金沢学院大学特任教授
ささき まさゆき
佐々木 雅幸 氏 (71歳) 学校法人稲置学園理事

○産業功労賞【個人2名】(産業政策課)

本市の産業の振興発展に関し、特に功績顕著な方に金沢市産業功労賞を贈呈し、顕彰しており、昭和40年度に創設(式典41回開催)

※既受賞者数 89人

ふくみつ まつたろう
福光 松太郎 氏 (70歳) 株式会社福光屋 代表取締役社長
あたか たてき
安宅 建樹 氏 (70歳) 株式会社北國銀行 相談役

○社会福祉功労賞【個人2名】(地域長寿課)

本市の社会福祉の振興発展に関し、特に功績顕著な方に金沢市社会福祉功労賞を贈呈し、顕彰しており、平成4年度に創設(式典9回開催)

※既受賞者数 12人

よしだ あきお
吉田 昭生 氏 (84歳) 金沢市地区社会福祉協議会会長部会長
かたおか まさこ
片岡 正子 氏 (78歳) 前金沢市民生委員児童委員協議会会長

<贈呈式(3賞合同開催)>

日 時 令和2年11月3日(火・祝(文化の日)) 午前10時～

場 所 金沢歌劇座 1階 ホール(下本多町6番丁27番地)

※ 受賞者の功績及び写真データをご希望の場合は、会見終了後、広報広聴課にお問い合わせください。

市長定例記者会見資料

「金沢市空き家等活用・流通促進体制に関する協定」締結式について

1. 協定締結の目的

金沢市内にある空き家等の有効活用及び流通の促進を図るため、市と専門団体（11団体）との役割等を定める協定を締結します。

2. 協定締結式

日時 令和2年10月22日（木）10:00から10:30

会場 金沢市第二本庁舎3階 大研修室

3. 協定の主な内容

1) 本市の主な役割

体制の構築、運営マニュアルの作成、情報共有ツールの整備等

2) 専門団体の主な役割

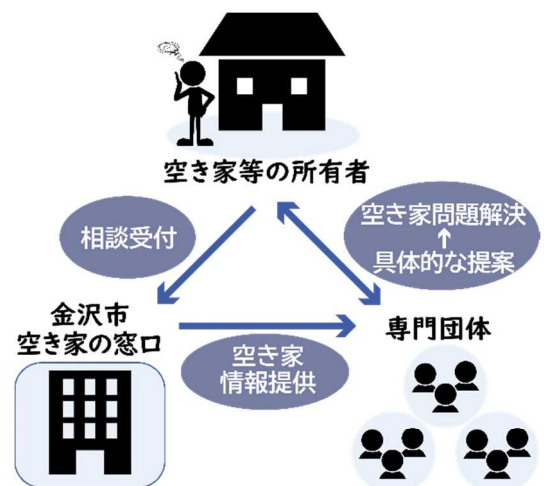
相談対応、問題解決策の提案、本市の要請への参加・協力等

3) 相互に取り組む事項

所有者等の個人情報の保護、効果促進のための広報活動等

4. 協定を締結する専門団体（11団体）

石川県司法書士会、石川県土地家屋調査士会、
金沢市建築組合、金沢地区建築組合連合会、
金沢弁護士会、
一般社団法人石川県建築士事務所協会、
一般社団法人石川県木造住宅協会、
一般社団法人プレハブ建築協会中部支部北陸協議会
公益社団法人石川県宅地建物取引業協会、
公益社団法人全日本不動産協会石川県本部、
特定非営利活動法人金澤町家研究会



空き家等活用・流通促進体制のイメージ

5. 今後の予定

市に寄せられた相談の中から未解決物件を抽出し、所有者の同意を得たものからモデルケースとして運用を開始します。

市長定例記者会見資料

金沢市職員地域貢献活動応援制度の創設について

職員が従事する地域貢献活動を応援するため「金沢市職員地域貢献活動応援制度」を創設します。

1 目的

職員が地域貢献活動に従事するに当たり、報酬を得る場合であっても安心して従事することができるよう許可の基準及び手続の明確化等を図り、地域の発展や社会的課題の解決等に寄与する公益性の高い職員の地域貢献活動を市として応援する。

2 対象となる活動

報酬を得て行う公益性の高い地域貢献活動

地域活動の例

町会役員、学校運営協議会委員、保護司、部活動指導、伝統芸能披露、文化・スポーツ活動指導 など

3 許可の基準

- (1) 職務と地域貢献活動との間に、特別な利害関係又はその発生のおそれがない。
- (2) 職務の遂行に支障をきたすおそれがない。
- (3) 信用失墜行為その他地方公務員法の精神に反する活動でない。 など

4 表彰

相当長期間に渡り同一の地域貢献活動に従事し、顕著な功績又は模範として推奨するに値する業績のあった職員を表彰する。

5 施行日

令和2年11月1日

市長定例記者会見資料

「金沢マラソン2020オンライン」申込結果について

1. 募集期間

- ①当初募集 令和2年8月26日(水) 定員5,000人に即日到達
②追加募集 令和2年9月18日(金) 定員2,000人に即日到達

2. 申込状況

7,110人

3. 地域別内訳

(単位：人)

地域		人数	地域	人数
北陸 三県	石川県	4,364	中国	99
	うち金沢市内	2,336	九州・沖縄	92
	富山県	237	甲信越	91
	福井県	127	東北	60
関東		697	四国	56
東海		630	北海道	52
近畿		605	合計	7,110

※県内：県外＝6：4 (参考) 2019大会 県内：県外＝4：6

4. オンラインマラソン参加者へのお願い

①感染防止対策

- ・体調管理と運動時以外のマスクの着用
- ・手洗い及び手指消毒の励行
- ・走行時の他者とのソーシャルディスタンスの確保(3密の回避)

②走行時の安全確保

- ・信号等の交通ルール及びマナーの遵守
- ・夜間に走行する際、夜光反射材の着用やライトの点灯
- ・繁華街など人が密集している場所及び車等の往来が多く歩道が狭い道路等における走行の自粛
- ・多人数による集団走行の自粛

※特に大会予定だった10月25日(日)に、金沢マラソンコースを集団で走行する行為は控える。